

# さんよう広場

三木山陽病院 広報委員会

第17号

平成23年5月

## 4月1日より外科を開設しました！

平成23年4月1日より、長年の念願でありました外科の診療を開設いたしました。これまで外科的疾患は当院では解決できず、地域住民の皆さんにご迷惑をおかけいたしました。今後はできるだけ皆さまのお困りのことが、当院で解決できるよう努力するつもりです。当院の外科では、緊急を含めて手術などの外科的加療によって患者さまに有益をもたらすのなら、高齢（90歳以上はもちろん）、抱えておられる疾患（心疾患、呼吸器疾患など）は問わず治療を行ってまいります。

最近、急速に外科でも専門性が広がっていますが、それに反してあえて専門分野を作らず、外科全般に渡って地域の皆さんにお役に立てるよう努力いたしてまいります。



手術室スタッフ

外科 針生 智樹

### 外科の針生智樹医師をご紹介します！

平成4年神戸大学医学部卒業、神戸大第二外科に入局。神戸大学医学部附属病院、小野市民病院、兵庫県立成人病センター（現がんセンター）胸部外科で研修し、その後、愛仁会高槻病院、石川島播磨病院に勤務いたしました。神戸大学に戻り博士号を修得し、平成10年より国家公務員共済組合連合会六甲病院に就職。同病院では約13年の間、所属する第二外科の元助教授であった笹田院長よりスバルタ教育を受けた後、骨折などの整形外科的分野以外で頸部から下肢にかけて外科手術全般を手がけるようになりました。三木山陽病院内科 黒田 祥二医師から誘いを受け、平成23年4月より勤務いたしております。

六甲病院を含めた約20年にわたる経験を生かし外科的処置及び手術が必要な患者様にベストを尽くし医療を行いたく思います。



針生智樹医師

専門 外科全般  
趣味 学生時代は麻雀であったが、最近は犬の散歩  
認定医 日本外科学会外科専門医

## 整形外科に新しく水口龍次医師、坂田亮介医師が着任されました！

整形外科では運動器（骨、関節、筋肉、脊椎等）に関する病気を扱っています。当院の整形外科では外傷（骨折、脱臼、靭帯損傷等）や脊椎疾患（頸椎、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症等）、関節疾患（変形性関節リウマチ）などの多種多様な病気の治療が守備範囲です。

特に近年の高齢化社会の到来と共に骨粗鬆症に由来する脊椎圧迫骨折や大腿骨骨折などの患者さまが増えてきていますが、その背景にある骨粗鬆症のお薬で治療することにより骨折を予防することができます。骨折の手術のみならず骨粗鬆症に対する知識や治療を普及させること（1次予防）、骨粗鬆症骨折の再骨折予防（2次予防）を地域の住民の皆様に啓もうしていくことも我々整形外科医に課せられた課題であると考えています。また変形性膝関節症や変形性股関節症では、保存的治療はもちろんのこと、人工関節の手術も行うことができます。受傷後、手術後はリハビリテーション科と連携して、早期に生活の質を改善する治療を行っています。また様々な生活習慣や心疾患などの合併症としてお持ちの患者さままで、内科との連携が必要な場合も当院では対応することができます。

皆さん、体の痛みを感じる際は整形外科を受診していただき、一度診察を受けられることをお勧めいたします。

整形外科 副院長 水口龍次

### 水口龍次医師をご紹介します！

幼いころ落ち着きのない子供であったようで、亡母によく叱られていきました。どうも考えるより行動が先になるようで、そのような性格は変わらず、じっとしていることが苦手です。研究生活に憧れ神大第2生化学教室（西塚研）の助手をしておりましたが、整形外科の同級生の誘いで整形外科に移籍、ここから臨床生活が始まることになるのですが、国立加古川病院時代に大変お世話になった西林先生の後任で三木山陽病院に転勤することは夢にも思っていませんでした。当時の西林先生の指導が厳しかったことが懐かしく、また森田院長とも一緒に国立加古川病院で仕事をさせていただきました。

当時は今思い出しても大変な仕事中毒の時代で、今同じようなことは2日とできないように思います。現在は骨の代謝性疾患や関節リウマチに興味の中心がありますが、地域の医療連携のお仕事をするうちに患者さま目線で医療を見直す必要があると感じていました。時を合わせるように三木山陽病院への転勤となりましたので、これからじっくりと患者さま中心の医療とはどのようなものなのか考えていきたいと思っています。



趣味  
認定医 仕事  
日本整形外科学会  
認定リウマチ医、スポーツ医、リハビリテーション医、  
日本リウマチ学会専門医  
日本医師会認定健康スポーツ医

### 坂田亮介医師をご紹介します！

中高まで加古川、姫路で過ごした後、大学からは山口の片田舎で学び、そしてバスケットボールに明け暮れ、卒業後神戸大学医学部整形外科教室へ入局。以後は県各地の基幹病院にて研鑽に励み、平成20年より神戸大学整形外科学院へ入学しました。

平成23年4月より、三木山陽病院整形外科へ着任しました。

趣味のバスケットボールは、医師となってからの度重なる大怪我をものともせず、現役生活を続行中。そのため、怪我をした患者さまの日常生活への復帰、特に学生、若年層のスポーツ復帰に強い意欲をもってかかわっていきたいと思っております。



趣味  
認定医 バスケットボール、スキー、スポーツ全般の観戦  
日本整形外科学会専門医  
日本整形外科リウマチ認定医

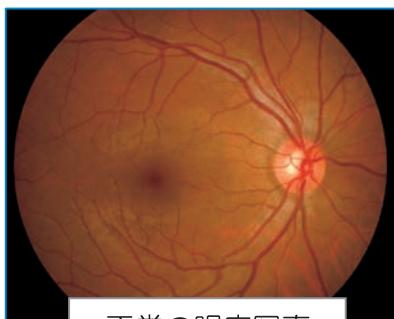
# 糖尿病網膜症とその手術について



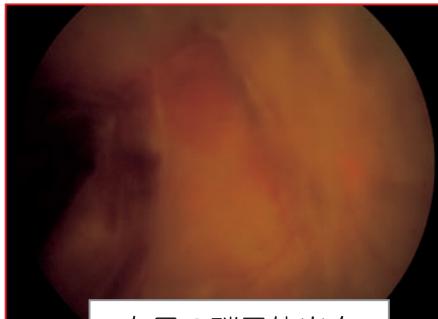
太田 医療事務員、本田 看護師

糖尿病の目の合併症に、眼底出血などを引き起こす糖尿病網膜症があります。どんな病気なのか、Aさんの場合をみてみましょう。

糖尿病歴 12年のAさん（63歳男性）は、2週間前の朝食の時から急に右目が見えにくくなり、その後全然見え方が良くならないので、眼科を初めて受診しました。Aさんは昔から目は良かったのですが、受診日の右目の視力は（0.02）と極端に低下していました。検査の結果、眼球内の硝子体（しょうしたい）に出血が起こっている硝子体出血が視力低下の原因でした。



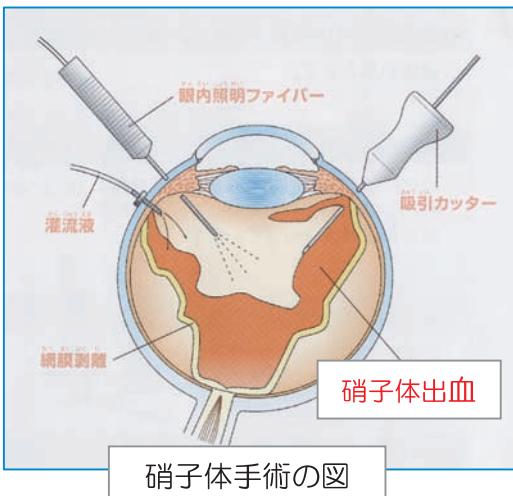
正常の眼底写真



右目の硝子体出血



右目の手術後の眼底写真



硝子体手術の図

Aさんは網膜症が未治療だったため自然に回復する見込みは少なく、このままだと網膜はく離や緑内障に進行して失明する可能性が高くなるので手術になりました。手術時間は局所麻酔で約1時間でした。

目の中の出血を照明ファイバーで眼内を照らしながら吸引力カッターで取り除き、出血源を探して止血し、レーザー治療も行う手術です。従来は約1mmの切開で手術を行うのですが、当院では最新の手術機器で約0.5mmの切開からの小切開手術を行います。小切開手術は切開が小さいことによる手術時間の短縮、術後の早期回復など、メリットが多いのが特徴です。

手術の結果、小切開手術だったので手術の傷も早期に回復し、右目の視力は1ヶ月後には（1.0）にまで回復しました。Aさんのように糖尿病網膜症は気がつかないうちに進行し、視力が低下した時には手術が必要なほど深刻な状態になっているケースも多いです。

Aさんは視力が回復しましたが、糖尿病網膜症は、失明原因の第2位となる恐ろしい病気です。糖尿病の患者様は自覚症状がなくても、定期的に眼底検査を受けることを心がけてください。



今福 医療事務主任・山崎 看護師

**眼科の土曜日の午前診療がはじまっています。**

平日はもちろん、土曜日でも網膜症の眼底検査は可能です。

## 3階 ひなまつり会

3月3日、3階ではひなまつり会をしました。ホールには京都のお茶屋さんを思わせるような番傘が広げられました。

患者さまの家族からいただいた手作りの千代紙のひな壇を飾りました。スタッフのかくし芸や歌に合わせた体操など患者さまと楽しい一時を過ごしました。



## サンスマイル三木 お花見

4月6日～15日にかけてデイケアご利用の76名の方々で協同学苑にお花見に出かけました。

この週はお天気にも恵まれ、皆さま思い思いのおしゃれもされて、久しぶりの外出でいいお花見ができたとても喜ばれています。

皆さまリフレッシュされたでしょうか。  
次もいいところを探してきますね。



## 内科の永禮智基医師をご紹介します！

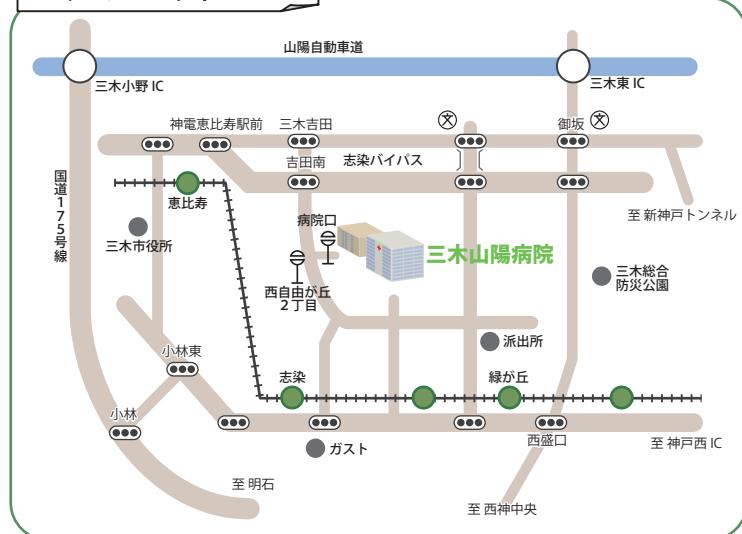
はじめまして。4月より三木山陽病院に勤務することとなりました**永禮智基**です。2年前までは非常勤として当院に勤務していましたが、その後東京の国立国際医療センターに勤務していました。この度、院長・副院長からお説明頂き当病院に勤務することとなりましたが、僕がこの病院を離れている2年の間に病院のスタッフも増員し、最新設備も導入され予想以上に病院が発展していたことに驚いています。

僕も他のスタッフに負けないよう、また最新設備に振り回されないように精一杯頑張りますので何卒よろしくお願ひいたします。



趣味	料理(ただしレパートリー限定) スポーツ観戦(主に甲子園で)
認定医	日本内科学会認定医 日本糖尿病学会専門医

## アクセス MAP



## 医療法人社団 朋優会 三木山陽病院

〒673-0501  
三木市志染町吉田 1213-1  
TEL 0794-85-3061  
FAX 0794-85-3582  
<http://www.mikisanyo-hp.com>  
E-mail:info@mikisanyo-hp.com